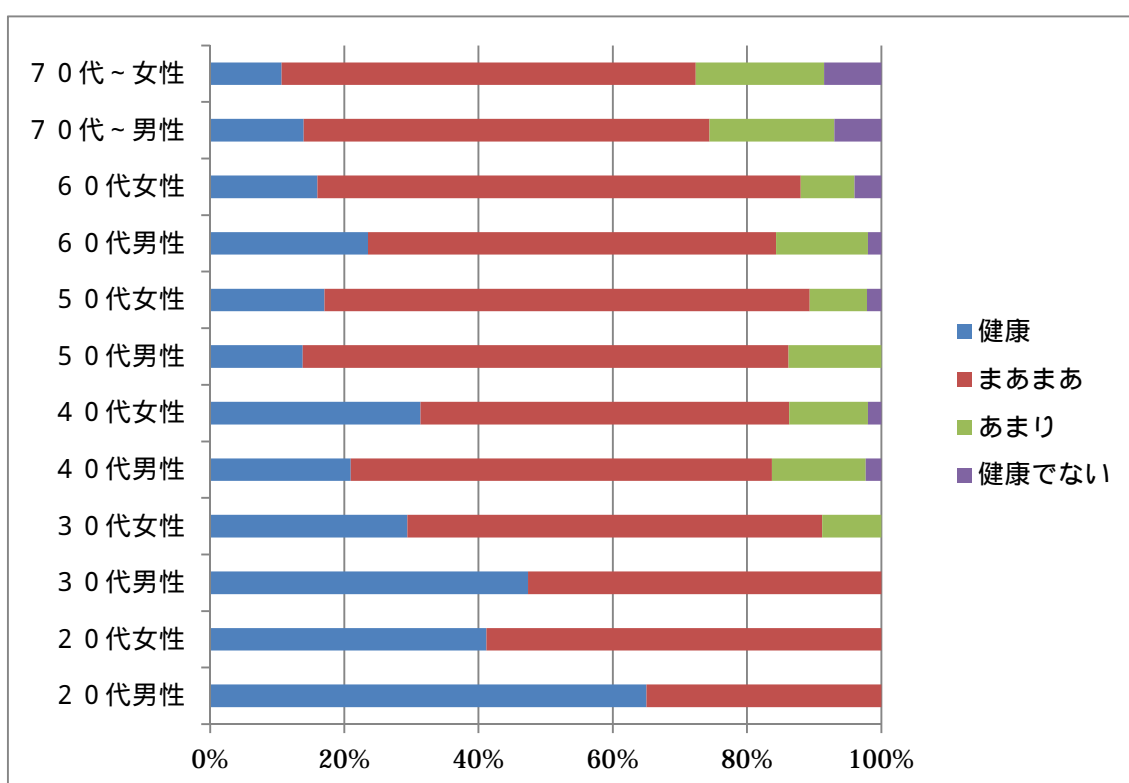


健康とスポーツに対する考え

今の健康状態について

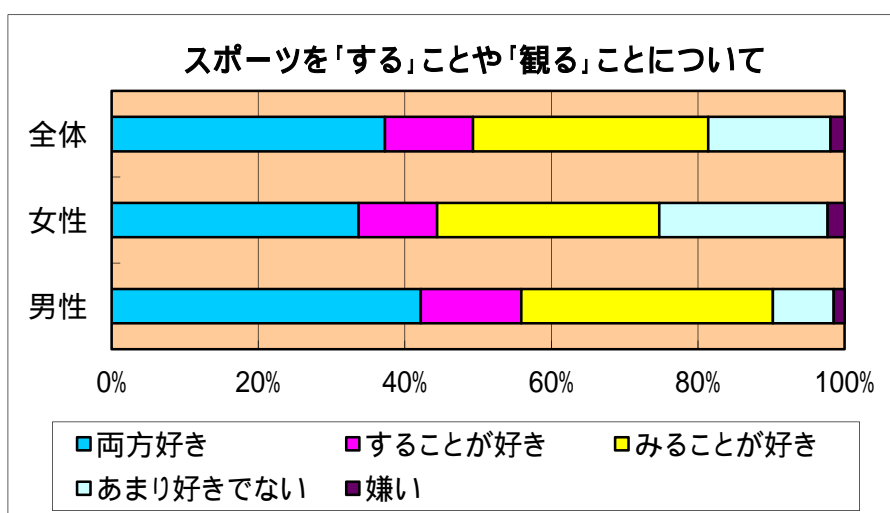
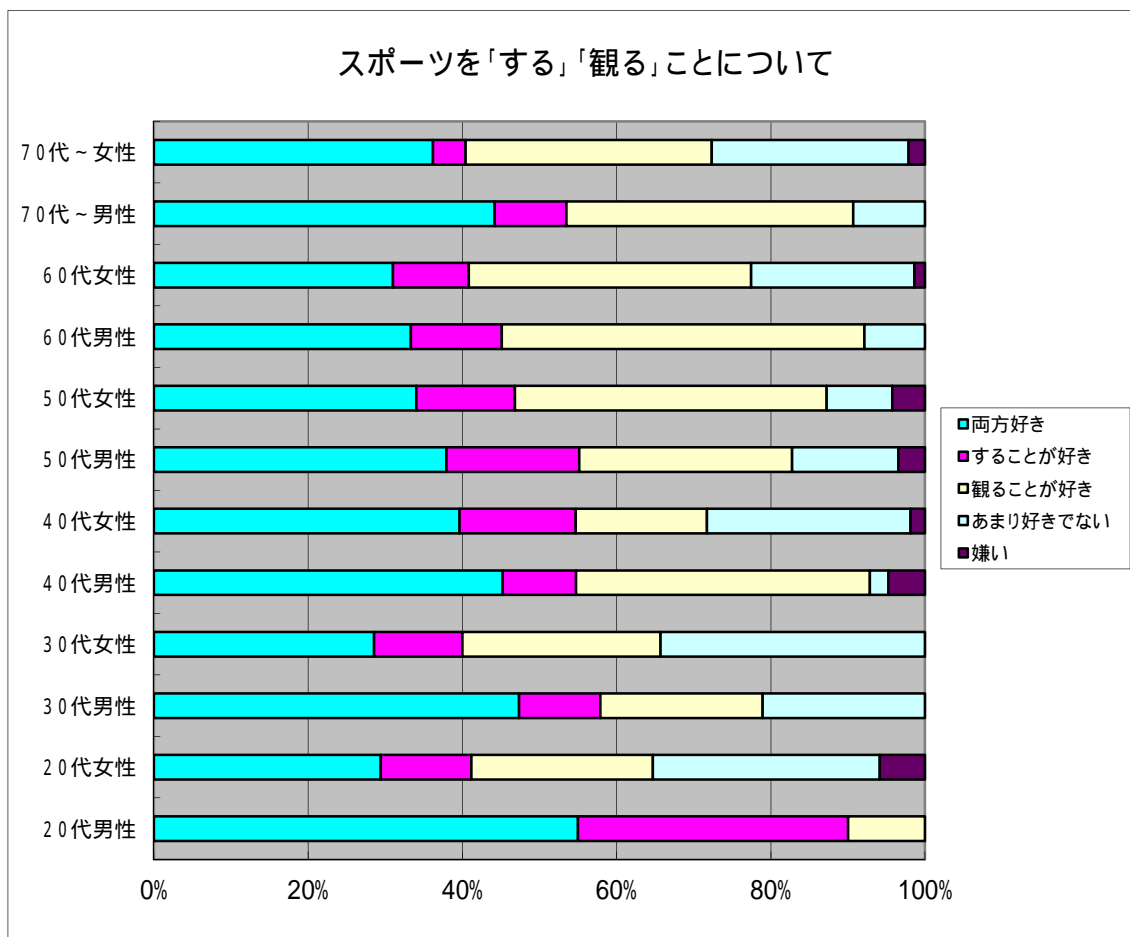
現在の健康状態については、23.7%の人が「健康」、62.1%の人が「まあまあ健康」と回答し、85.6%の人が自分は健康であると感じている。

年代別に見ると、20代は健康であると感じている人の割合が高く、併せて健康でないと答えた人はいなかった。年代が上がるにつれて、健康でない人の割合が増えている。



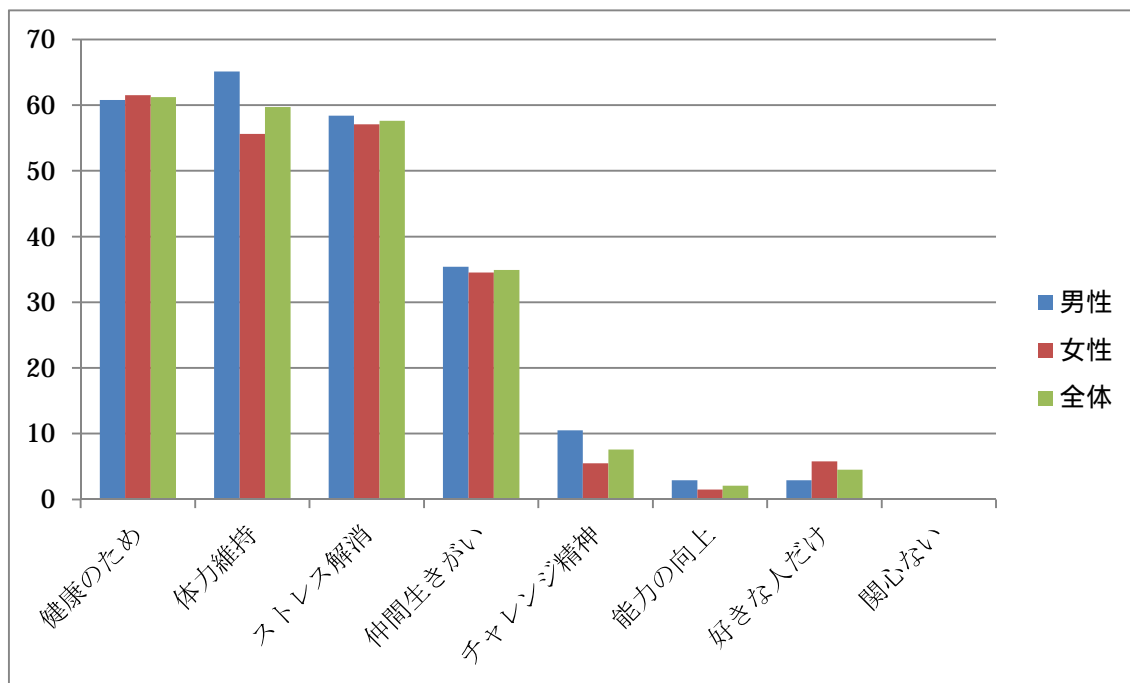
スポーツを「する」ことや「観る」ことについて

「両方好き」という人の割合が50%を超えているのは20代男性であった。「することが好き」なのは、「両方好き」と合わせて50%を超えているのは、男性が20代、30代、40代、50代、70代以上だったが、女性は40代のみだった。20代男性以外では総じて「すること」より「観ること」の方を好んでいる傾向であった。



スポーツについての考え

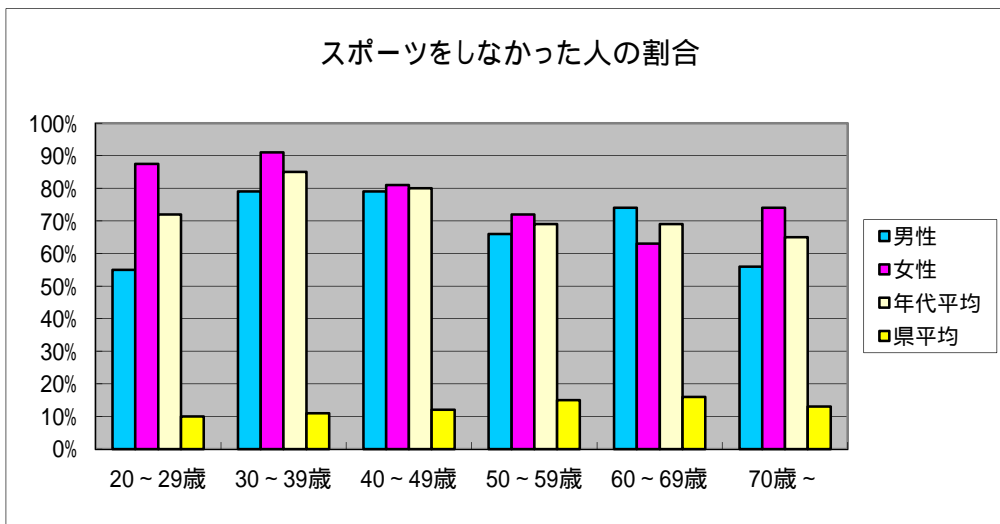
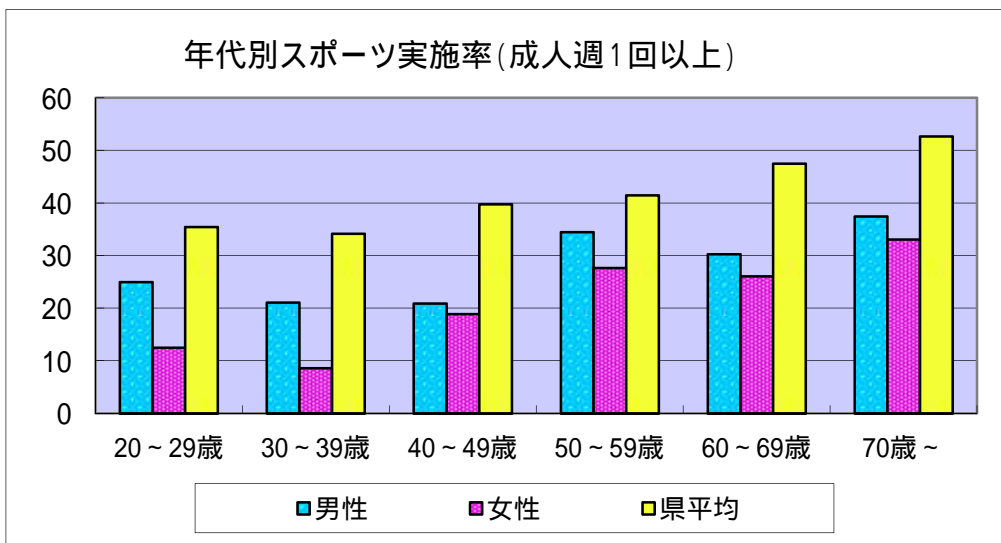
スポーツに対する考え方では、男女とも「健康を保つため」「体力維持」「楽しみやストレス解消のため」の割合が50%を超えている。「仲間づくりや生きがいづくりのため」と答えた割合が35%前後であった。「関心がない」という回答はなかった。



スポーツの実施状況

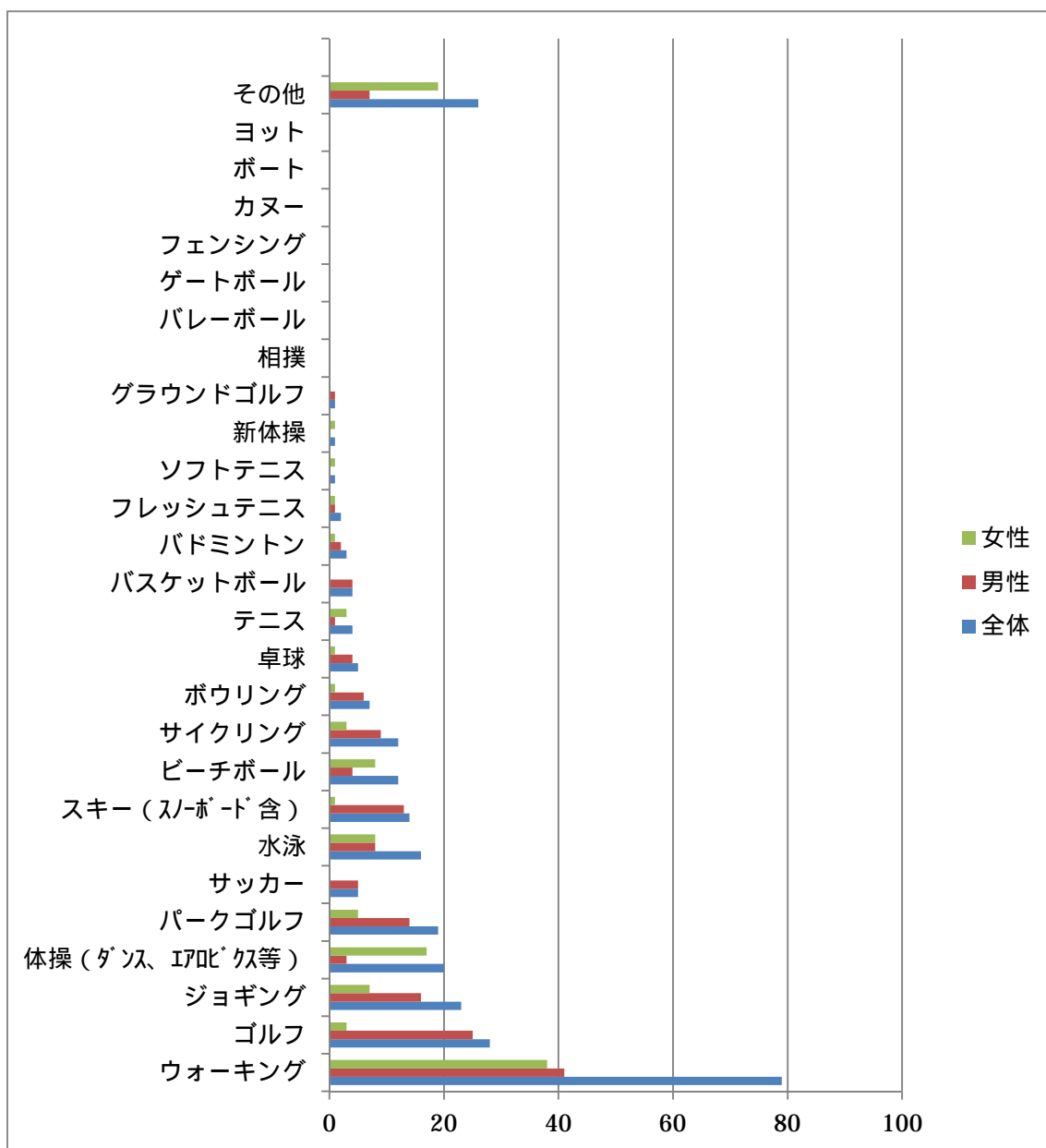
スポーツ実施状況

週1回以上運動を実施している人の割合（スポーツ実施率）は、男女ともどの年代においても県平均値を下回っていた。男女とも50代以降の実施率は30%前後と高くなっていくが、60代が50代と比較すると低い結果となっている。男女とも30代、40代が低く、特に20代、30代女性の実施率が10%前後と低い。まったく運動をしていない人の割合もいずれも80%を超えている。



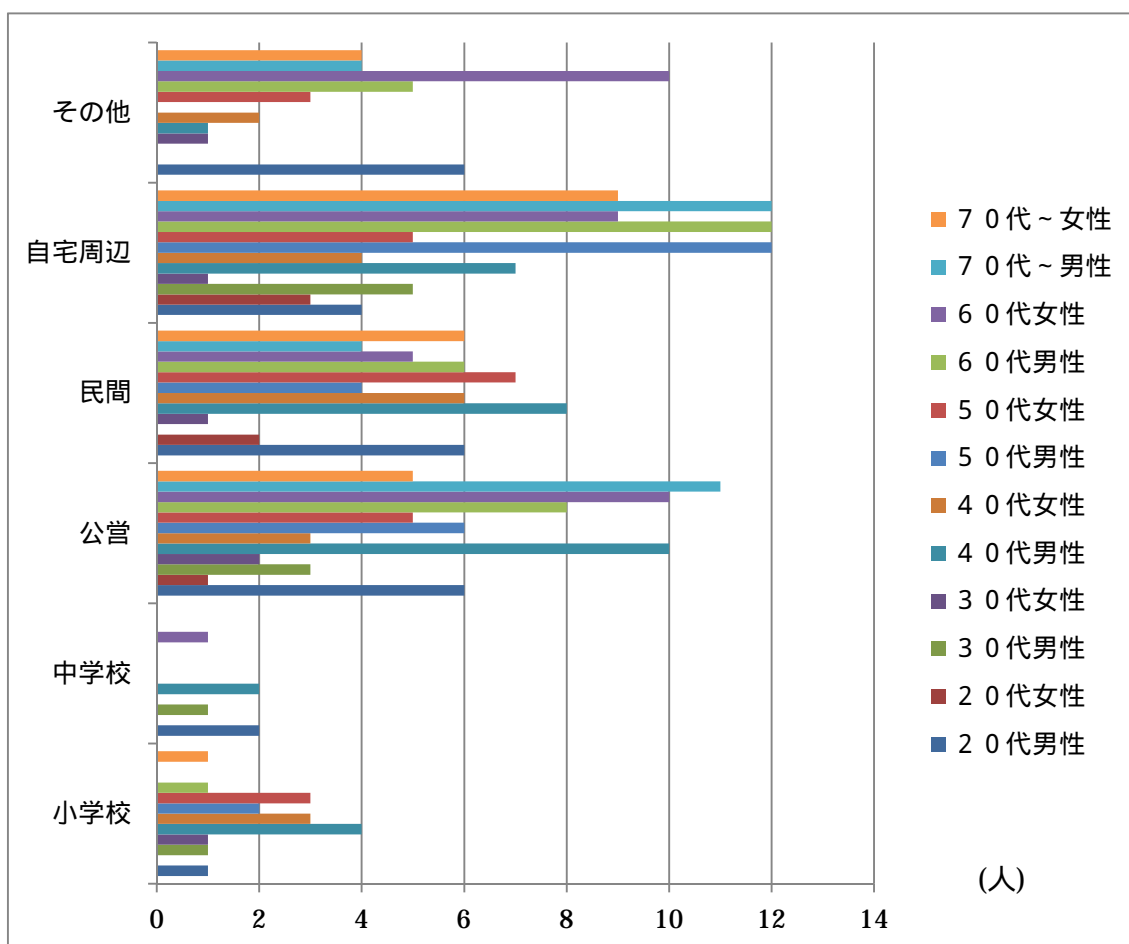
現在しているスポーツは何ですか。

全体で最も実施されているのは「ウォーキング」であり、次いで「ゴルフ」「ジョギング」「体操（ダンス、エアロビクス）」の順だった。第2位以下は、男性の場合「ゴルフ」「ジョギング」「パークゴルフ」、女性の場合「体操（ダンス、エアロビクス）」「ビーチボール」「水泳」だった。



スポーツをしている場所

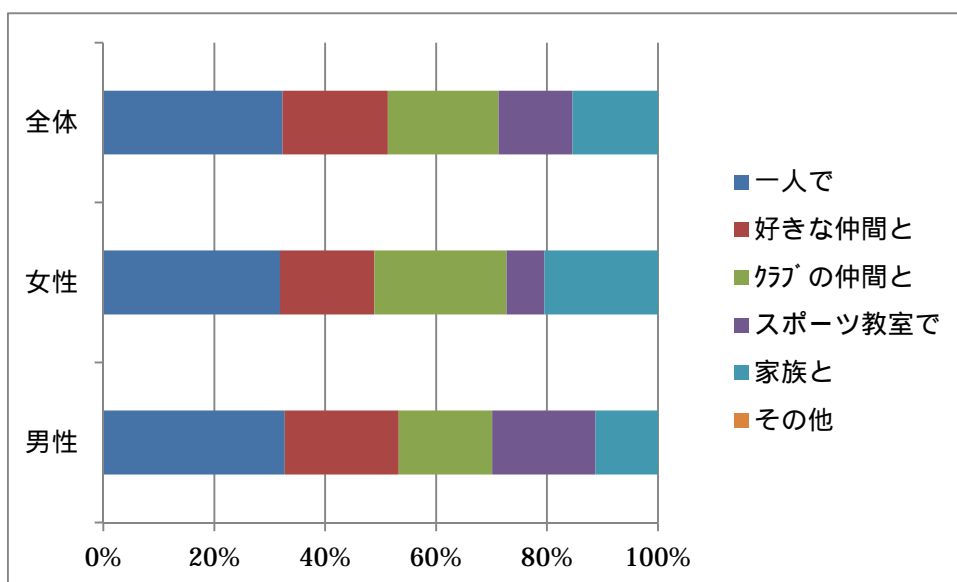
いつもスポーツをする場所は、「自宅周辺の野外・公園」が多く、男女とも60代、70代以上の割合が高くなっている。「民間のスポーツ施設」を利用している割合では、50代、60代、70代以上の女性が高く、一方50代、60代、70代以上の男性は「公営のスポーツ施設」利用が高くなっている。「小学校」「中学校」施設の利用は、比較的少ない。

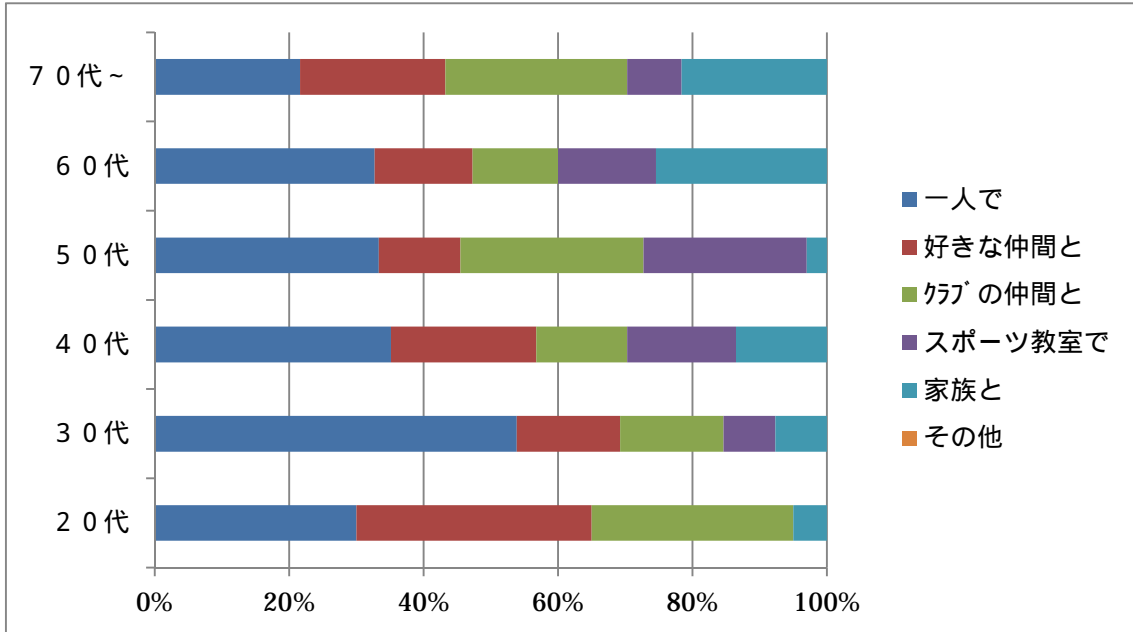


誰とスポーツをするか。

「自分一人で」が32.3%と最も多く、次いで「クラブの仲間と」20%、「好きな仲間と」18.9%という結果であった。

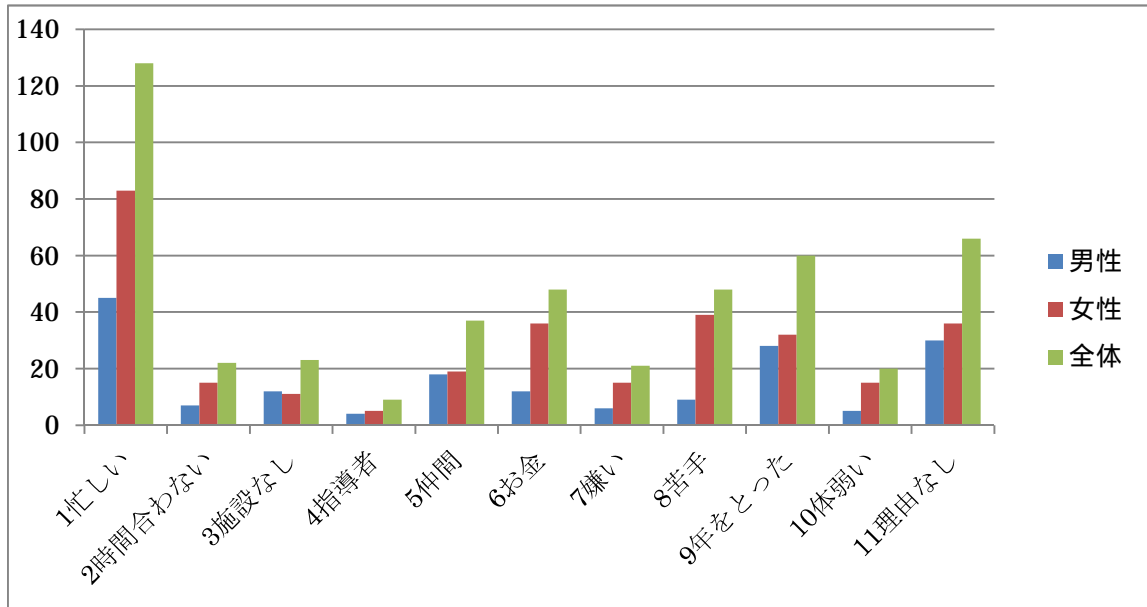
男性の場合は、「自分一人で」「好きな仲間と」「スポーツ教室」であり、特に50代男性は「クラブの仲間と」「スポーツ教室」の割合が高くなっている。女性の場合は「自分一人で」「クラブの仲間と」「好きな仲間と」となっている。「家族と」実施する割合は、60代、70代以上で高くなっている。





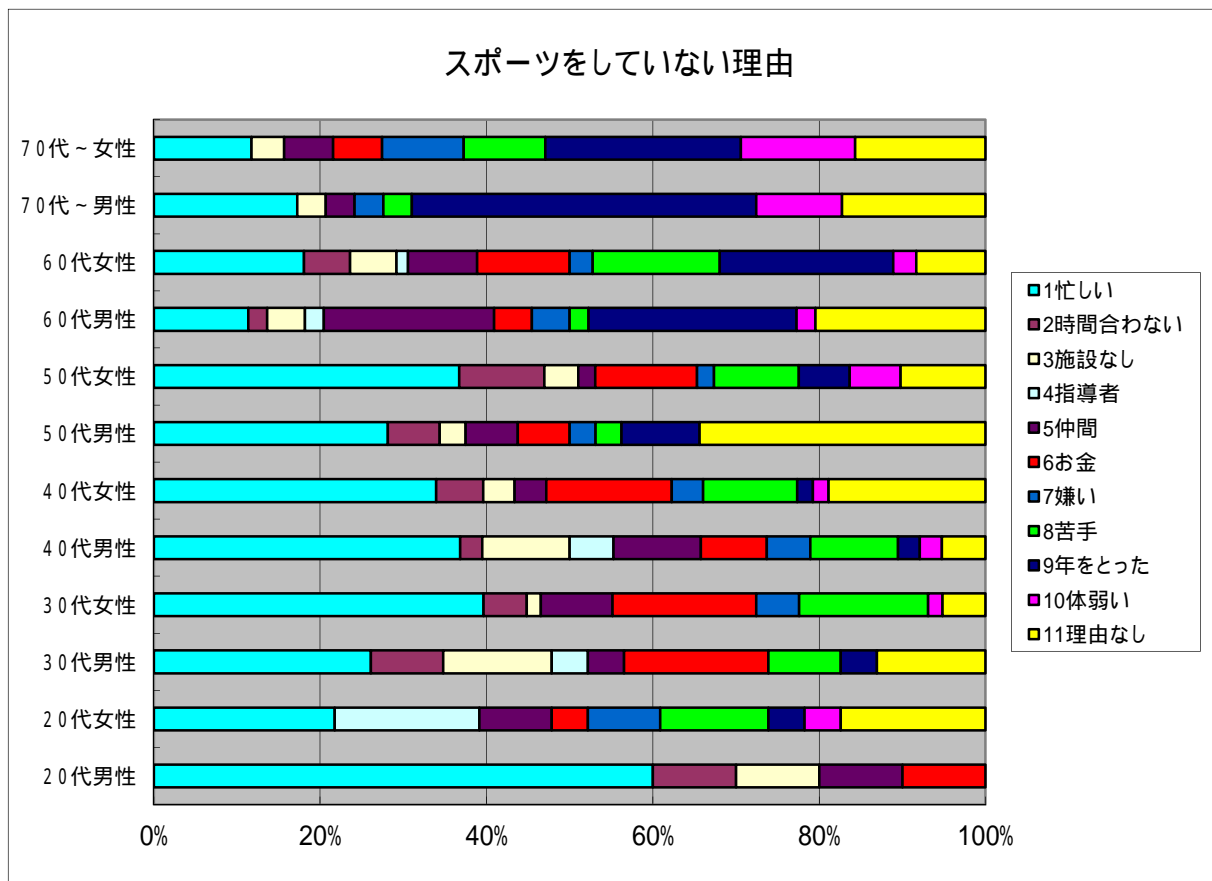
スポーツをしていない理由

最も高かったのは、「忙しくて時間がない」の回答であり、次いで「年をとったから」「お金がかかる」「スポーツが苦手」だった。女性は、第2位が「苦手」、第3位が「年をとったから」、男性が「年をとったから」「仲間がいない」「お金がかかる」の順だった。男女とも、50代までは「忙しくて時間がない」の回答の割合が、ほぼ40%前後であり、20代女性の回答には、「指導者がいないから」も挙がっている。

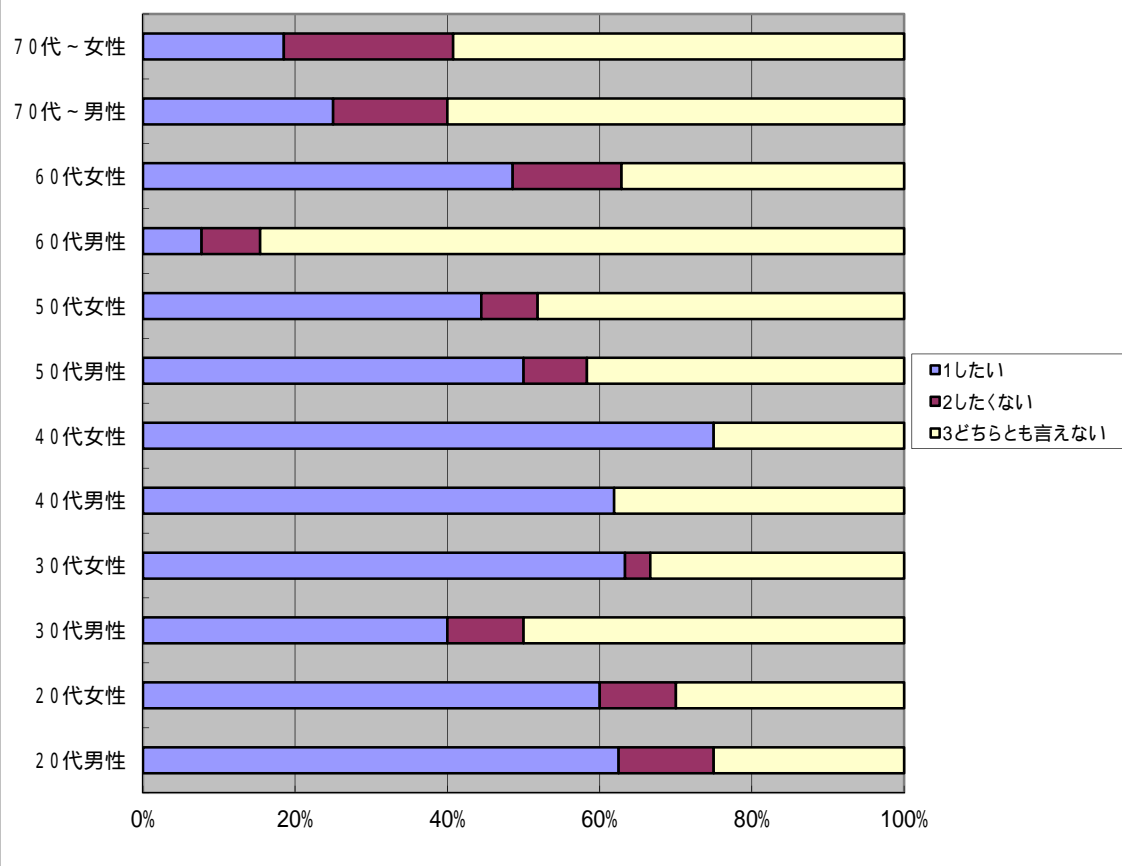


条件が整えばスポーツをしたいか。

条件が整えばスポーツをしたいと考えている人は、50代までの割合が40%を超えている。特に40代男女とも60%を超えていて、「したくない」と考えている人はいなかったことから、条件が整うこととの関連が高いと言える。



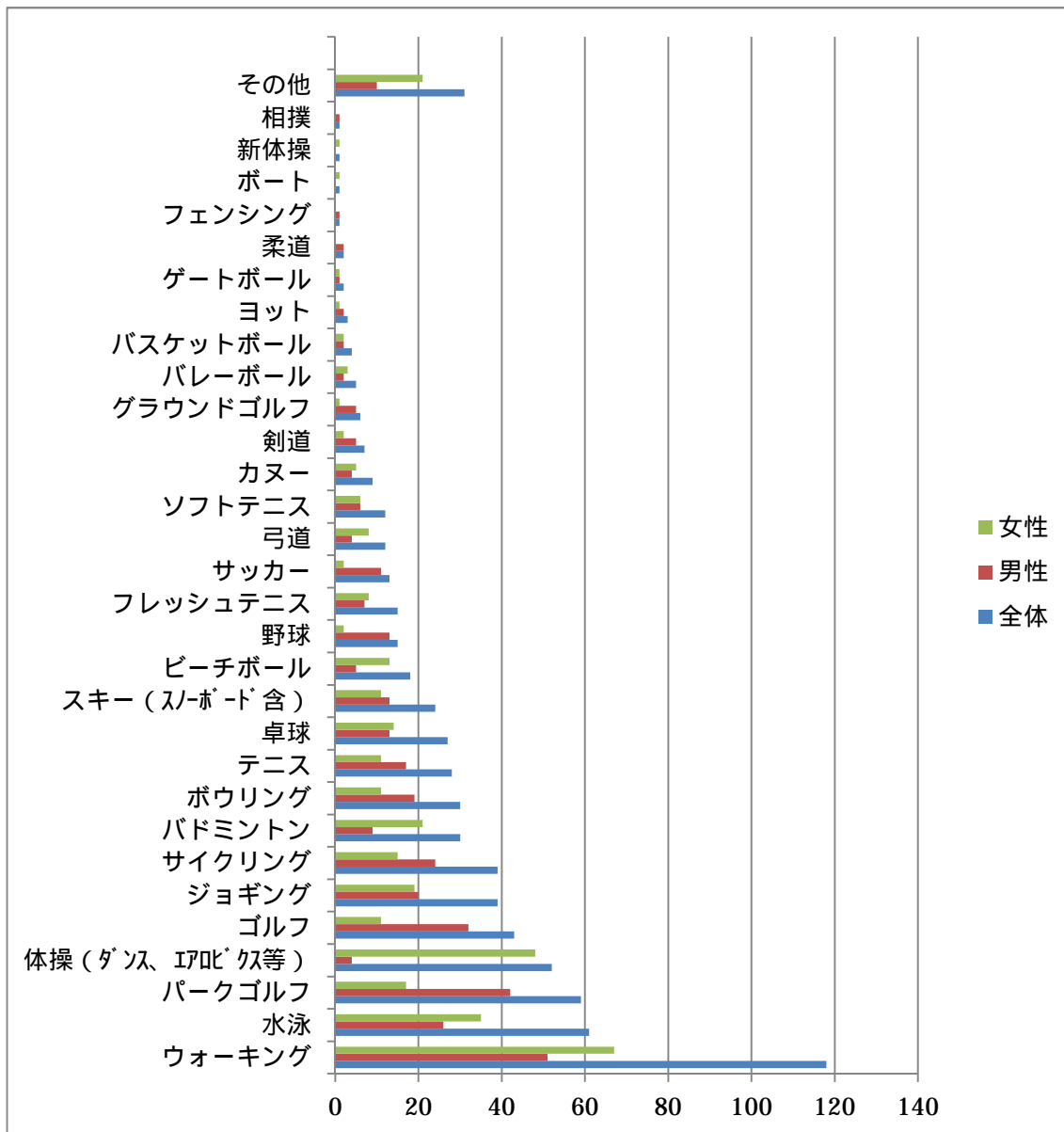
条件が整ったとしたらどうですか。



今後してみたいスポーツは何ですか。

全体としては「ウォーキング」が第1位で25.2%であり、次いで「水泳」13%、「パークゴルフ」12.6%「体操（ダンス、エアロビクス）」11.1%「ゴルフ」9.2%だった。男性の場合は、「ウォーキング」「パークゴルフ」「ゴルフ」、女性の場合は「ウ

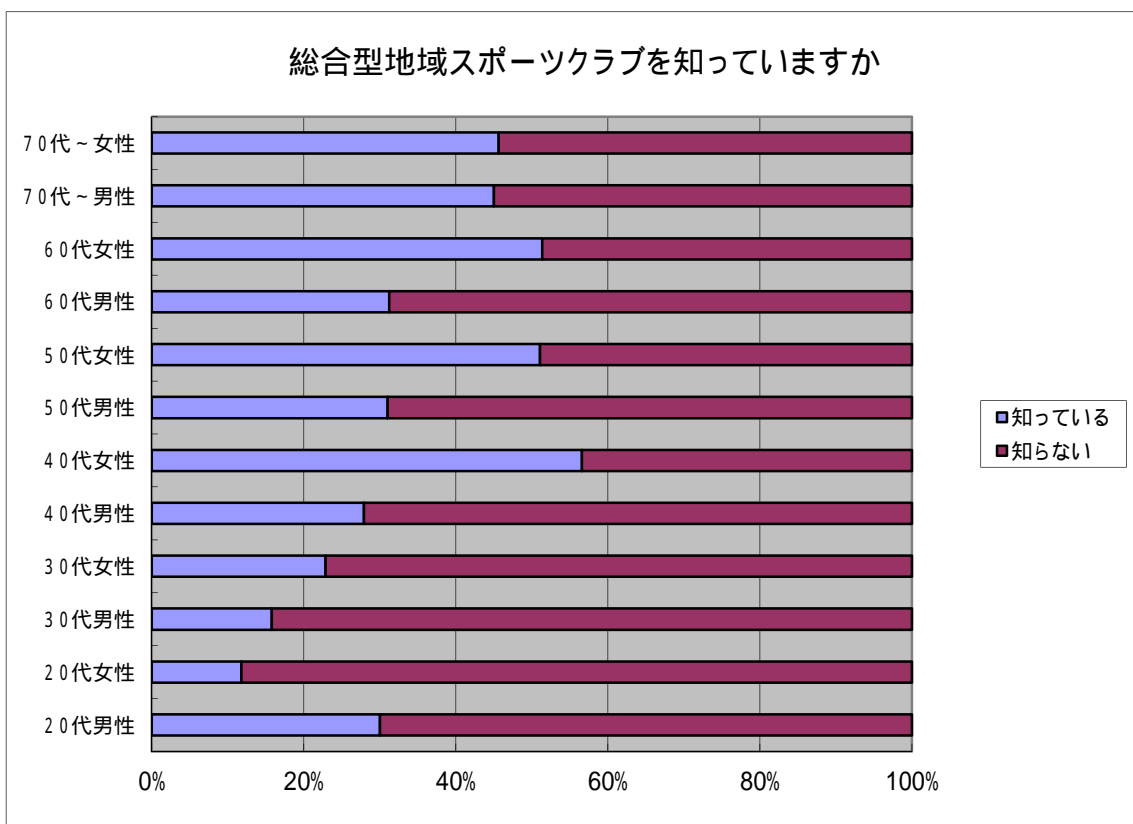
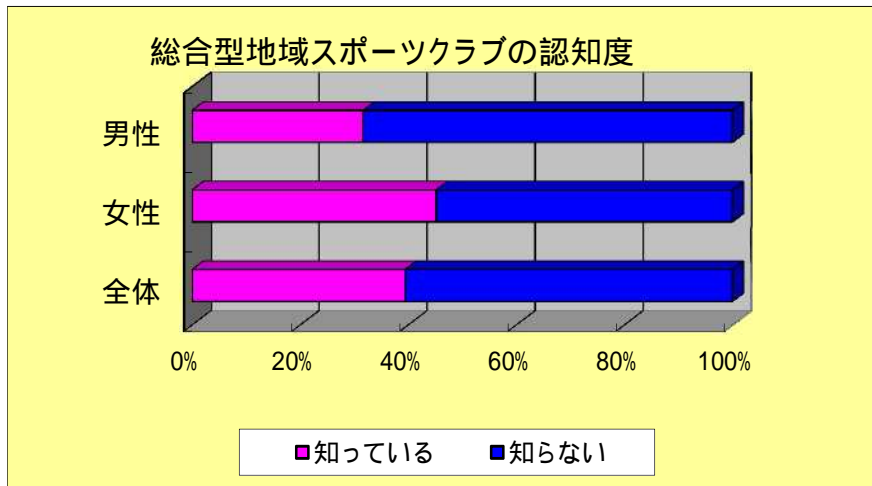
ウォーキング」「体操（ダンス、エアロビクス）」「水泳」の順だった。



「総合型地域スポーツクラブ」について

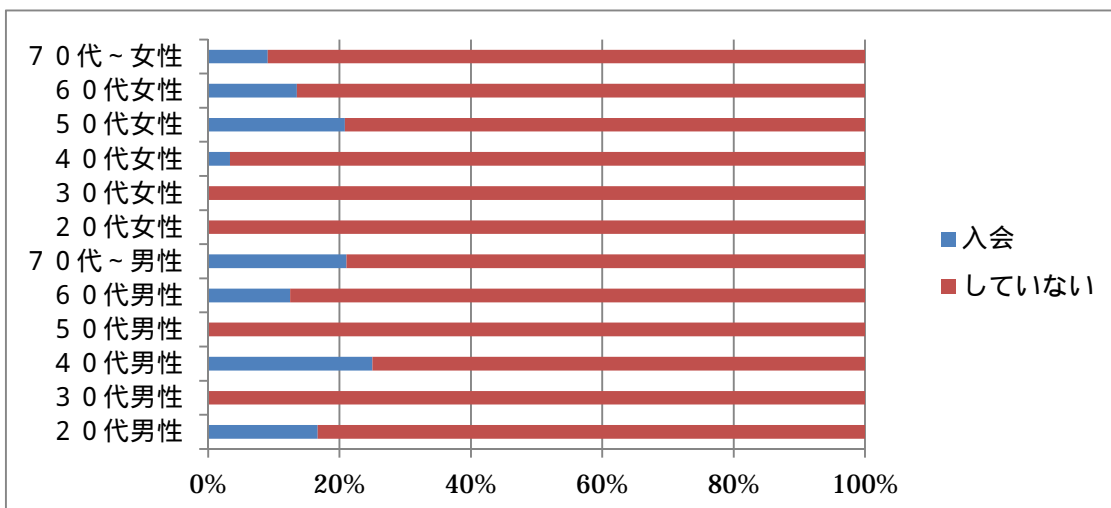
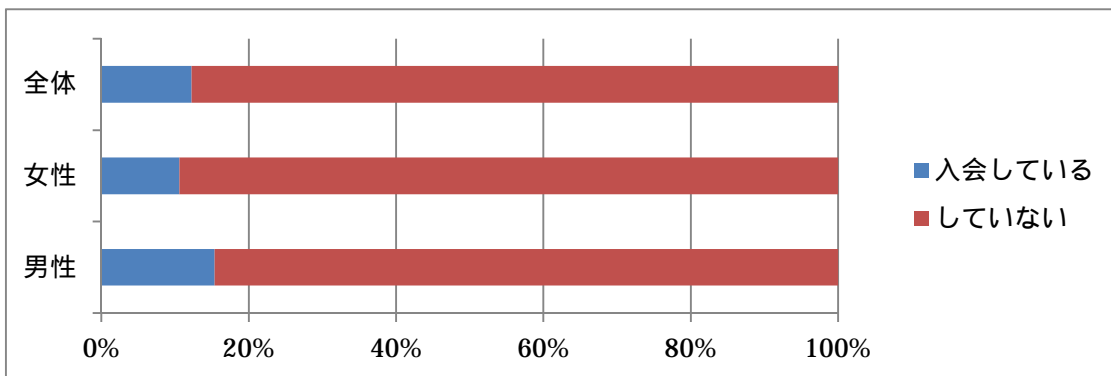
総合型地域スポーツクラブの認知度

総合型地域スポーツクラブの認知度は、「知っている」と答えた人が 39.4%に対し、「知らない」と答えた人は 60.6%だった。比較的女性のほうが認知度が高く、40代以降の女性の認知度はいずれも 40%を超えている。若い年代で認知度が低い傾向となっている。



総合型地域スポーツクラブを知っていると回答した人に「総合型地域スポーツクラブ」に入会しているか。

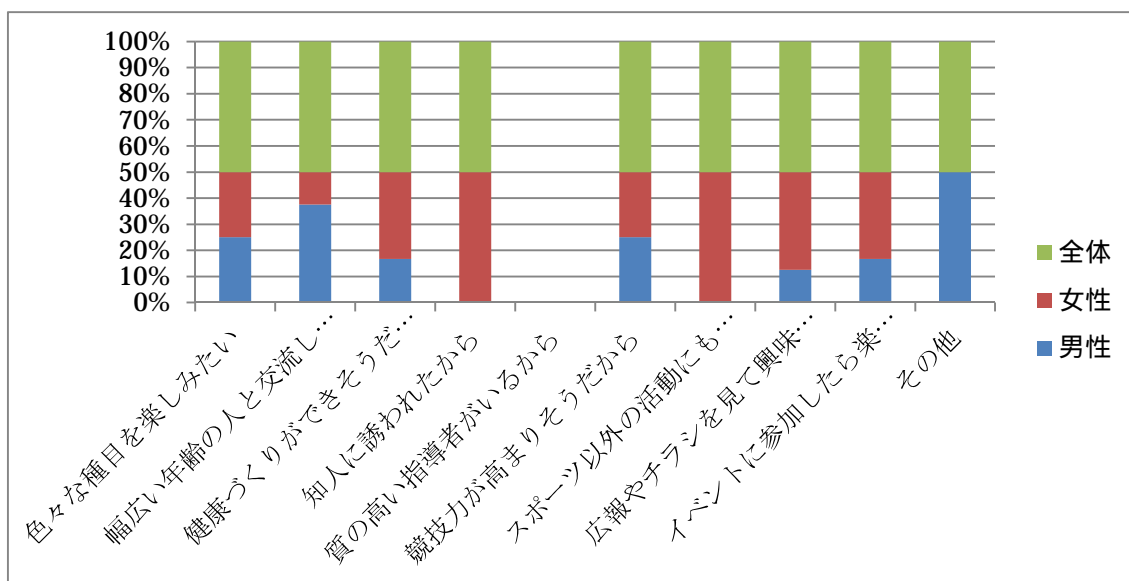
総合型地域スポーツクラブについて知っている人と答えた人に、「入会しているか」を聞いたところ、13.9%の人が入会していると答えた。男性では、20%、女性は9.5%だった。年代別に見ると、男性では20代、40代、70代以上が、女性では50代が多く入会している。



入会した理由

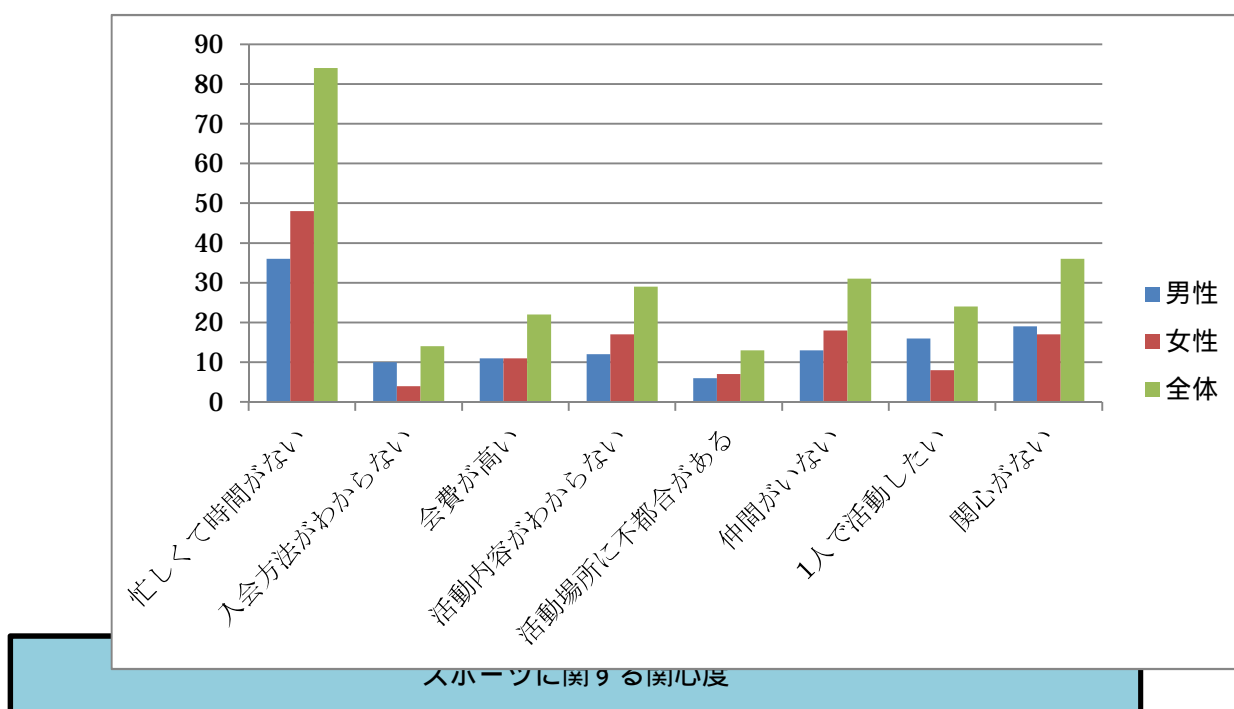
全体では、「健康づくりができそうだから」と答えた人が最も多かった。男性の場合

は、「幅広い年齢の人と交流したいから」「色々な種目を楽しみたいから」、女性の場合は「知人誘われたから」「スポーツ以外の活動にも取り組めるから」の順だった。



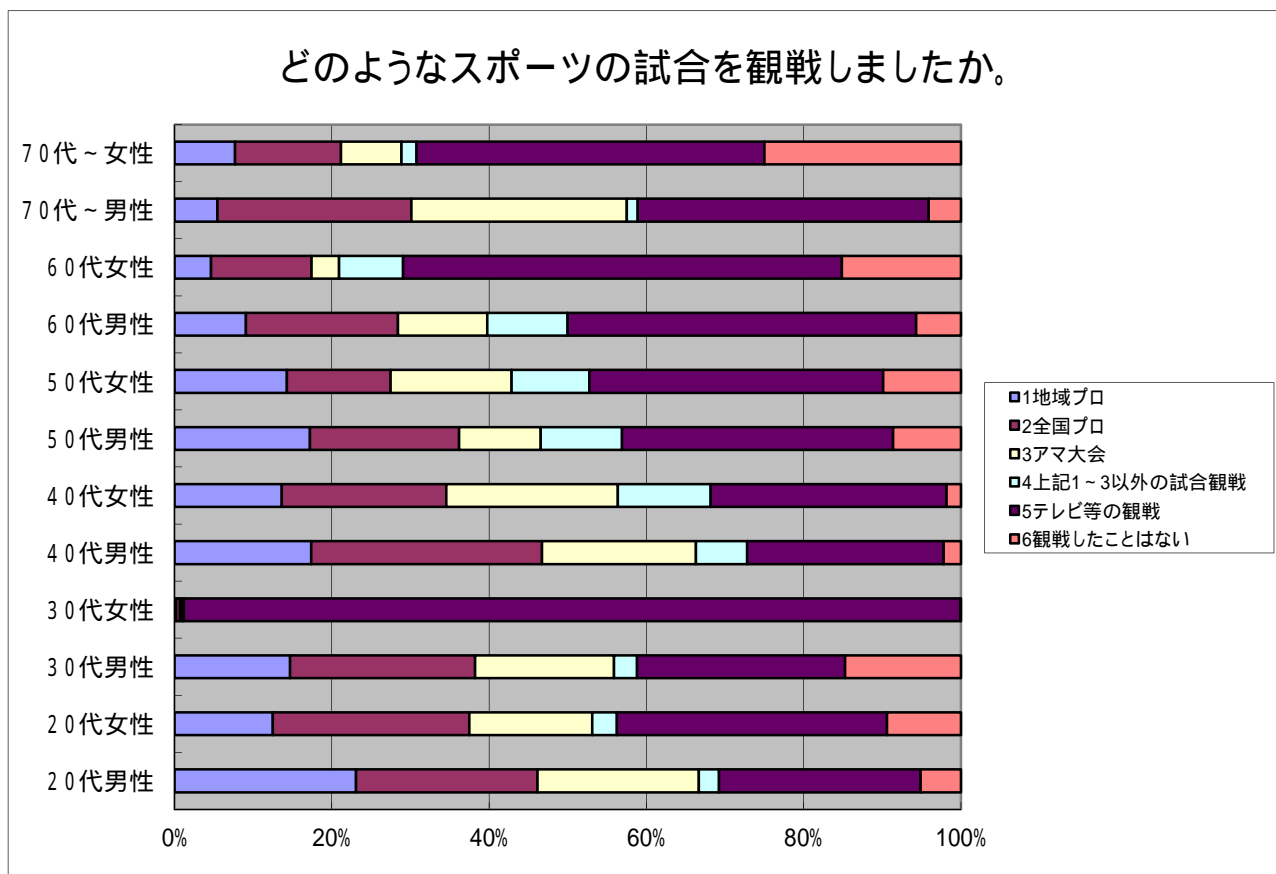
入会していない理由

全体では、「忙しくて時間がないから」と答えた人が最も多く、男性の場合は、次いで「関心がない」「一人で活動したい」、女性の場合は「仲間がいない」「活動内容がわからない」の順だった。



どのようなスポーツを観戦したか。

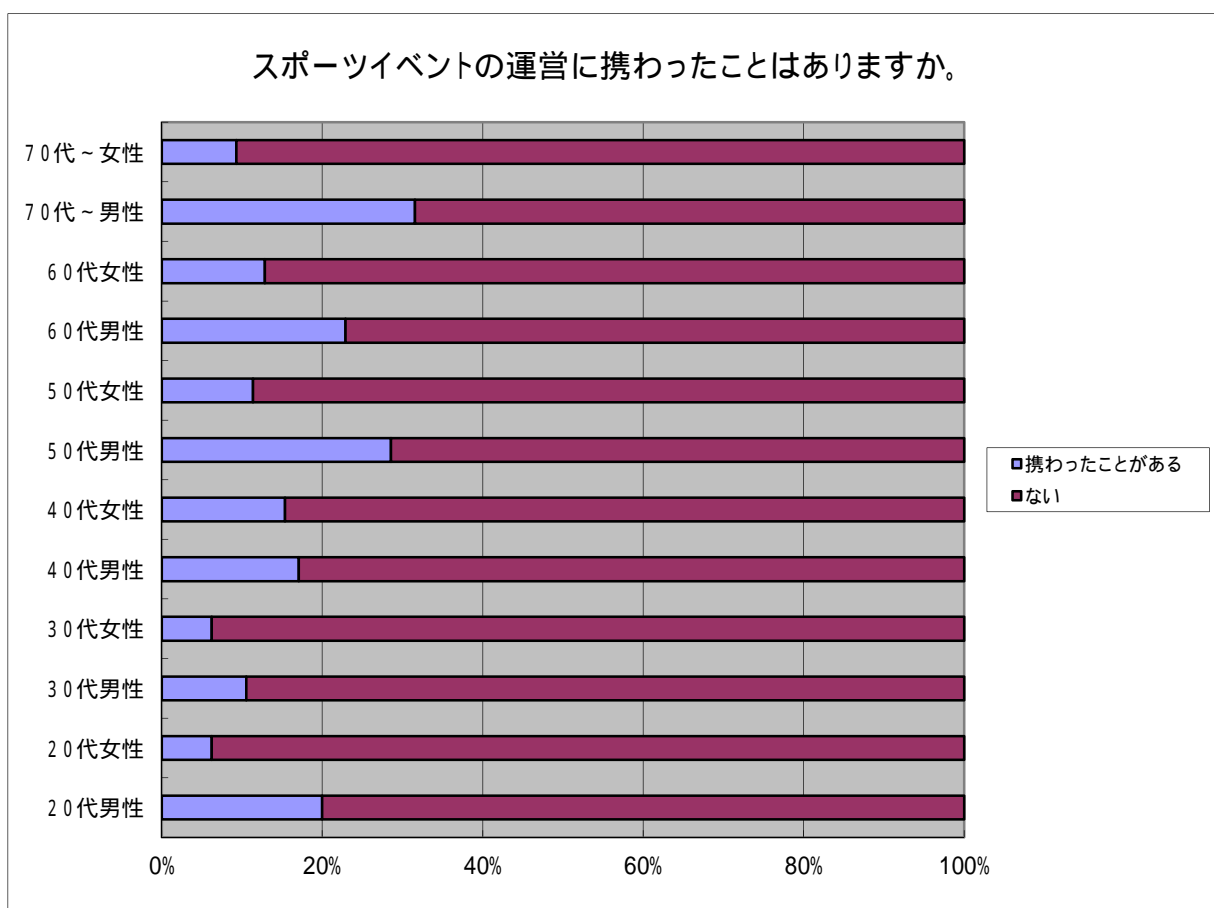
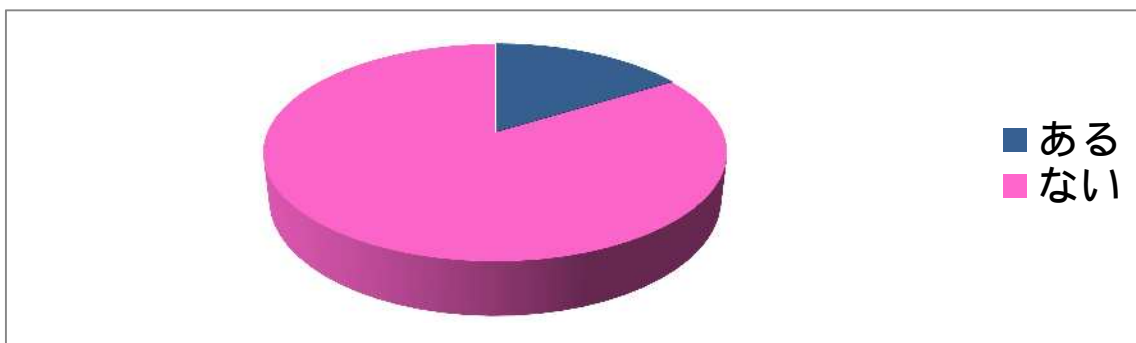
どの年代においてもテレビ等、メディアを通じての観戦が多く、30代女性の結果においてそのほとんどを占めている。全国的なプロスポーツは全般的に観戦されているが、地域のプロスポーツは50代までの年代においては、よく観戦されていることがわかる。



スポーツイベントの運営に携わったことがあるか。

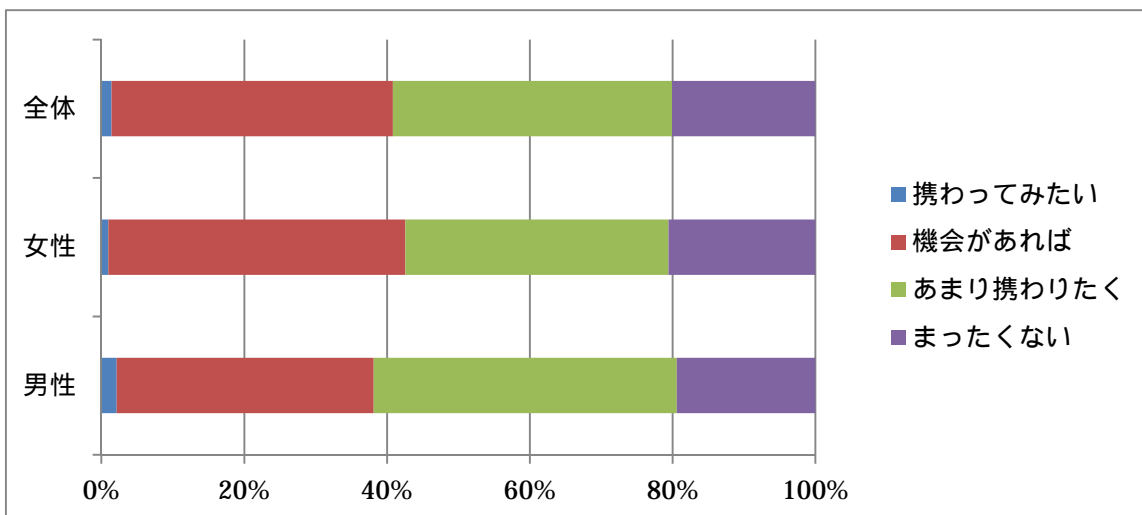
スポーツイベントに参加したことがある人は 16.2%で、参加したことがない人は 83.8%であった。

年代別では、50代以降の男性において、参加経験のある人が 20%以上を示している。女性は全般的に 2 割を下回っていて、20代、30代はともに 6.7%であった。

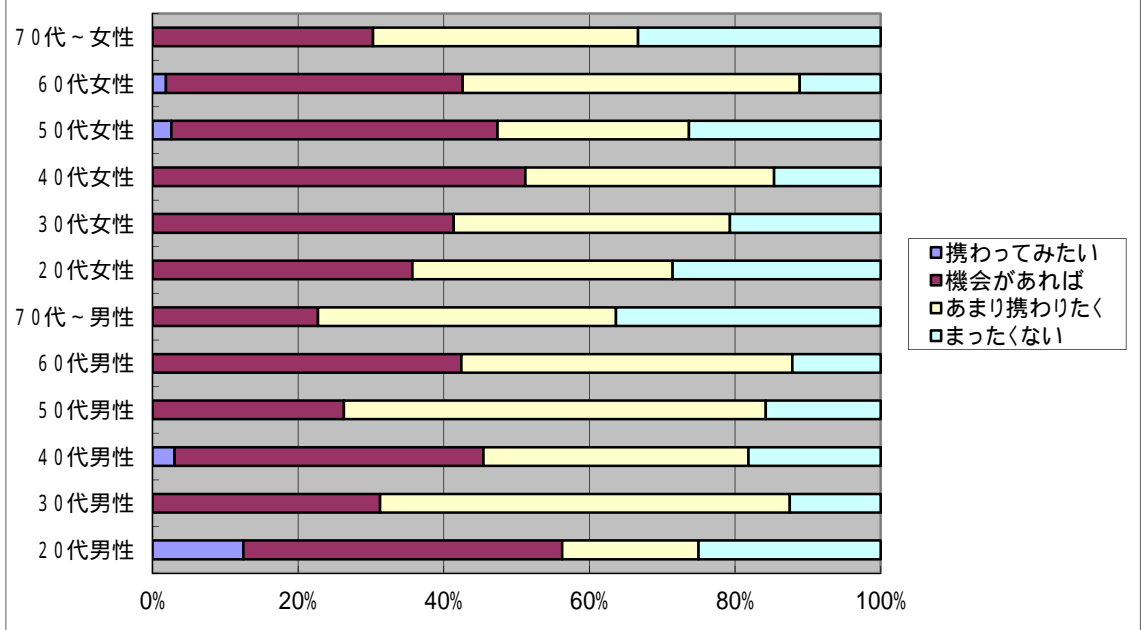


今後、スポーツイベントの運営に携わってみたいと思うか。

「機会があれば携わりたい」が最も多く 39.4%で、次いで「あまり携わりたくない」37.9%、「まったく携わりたくない」19.6%、「携わってみたい」は1.4%であった。年代別で見ると、60代、70代以上では男女とも「機会があれば携わってみたい」と考えている人の割合が、「あまり携わりたくない」を上回る結果となった。



今後、スポーツイベントの運営に携わってみたいと思いますか。



市のスポーツ活動推進に関する取り組みで期待すること

射水市のスポーツ事業推進に期待することは、「スポーツ施設の整備」が15.6%で最も高く、次いで「公営のスポーツ教室の増設」が13.6%、「市民が参加できる大会開催」が13.1%であった。

